

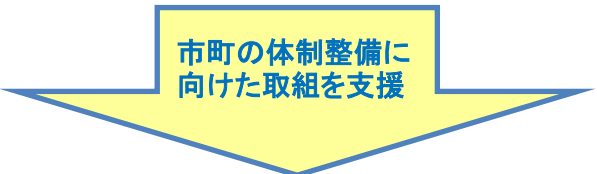
# 健やか親子いきいきプランみえ(第2次) 推進のための三重県事業

# < 出産・育児まるっとサポートみえ (三重県版ネウボラ) >

「健やか親子いきいきプランみえ(第2次)」の基本理念  
 子どもを産み、育てる人にいつも寄り添い、  
 すべての子どもが健やかに育つ三重

<現状・課題>  
 ○地域社会でのつながりの希薄化等による育児中の家庭の孤立化  
 ○育児の負担感や育児不安を抱える親・家族が増加  
 ○産後の一定期間におけるサービスが不十分  
 ○関係機関の間での情報共有などの連携が不十分

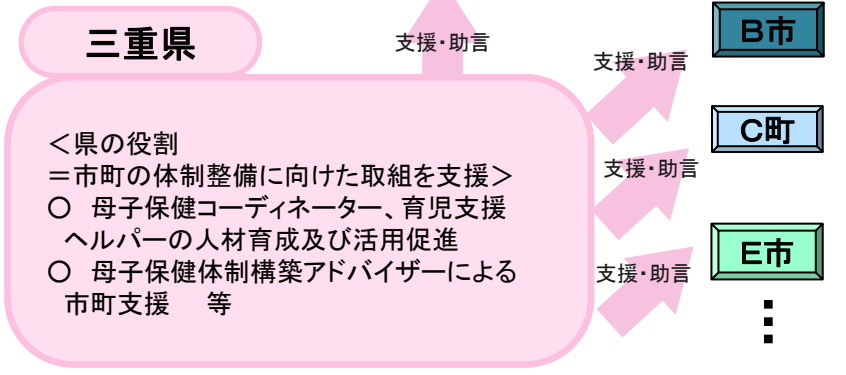
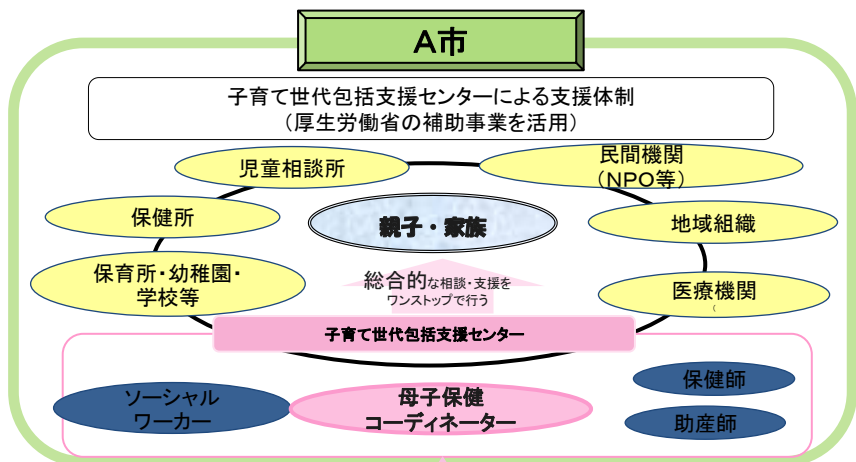
<取組の推進に向けた4つ視点>  
 ①継続的な支援      ②ワンストップの支援  
 ③予防的支援        ④家族支援



県内のどの地域においても妊産婦やその家族が必要な時に必要なサービス受けることができる  
 新たな三重県の出産・育児支援体制  
**「出産・育児まるっとサポートみえ」**  
 により取組を推進

## 「出産・育児まるっとサポートみえ」のイメージ

それぞれの市町で地域の強みを活かした母子保健体制が整備されている



# <人材育成支援>

## 母子保健支援者育成事業

母子保健コーディネーター・育児支援ヘルパーの養成  
(H26年度～)

	平成26年度	平成27年度
母子保健コーディネーター	15名	32名申込み有
育児支援ヘルパー	53名	

第1回9月28日  
第2回平成28年  
1月予定

平成27年12月  
県内3か所で各3日間実施予定  
会場: 四日市市・津市・名張市

# <産後ケア事業の推進>

- 産後ケア事業

産院退院後の育児不安に対応

国庫補助事業(妊娠出産包括支援事業)の利用の有無にかかわらず、県による補助を実施

	平成26年度 (2市町)	平成27年度 (7市町)
宿泊型	津市(4例) 名張市(0例)	津市・名張市・松阪市 伊賀市・紀宝町
日帰り	津市(0例) 名張市(0例)	津市・松阪市・伊賀市・ 紀宝町
訪問		津市・伊賀市・熊野市・ 御浜町・紀宝町

# <不妊に悩む家族への支援>

## 男性不妊治療助成事業（平成26年度～）

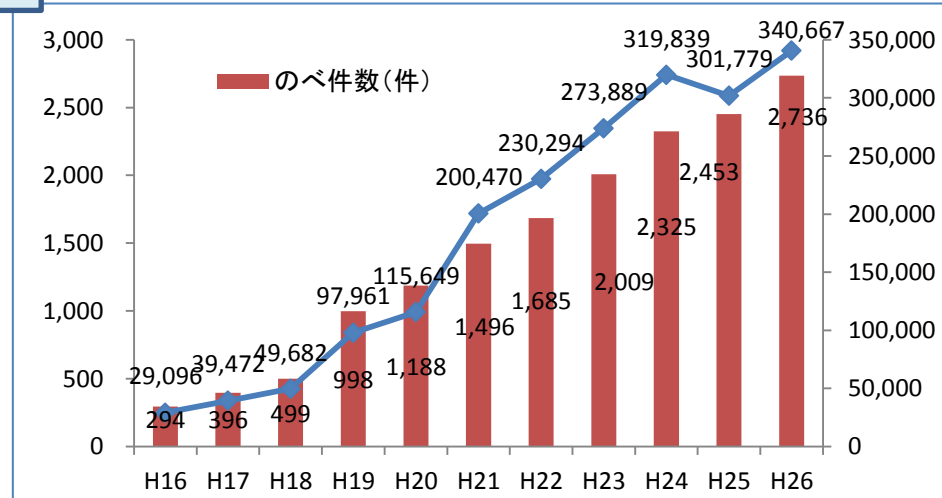
- ①特定不妊治療費助成金の上限額は1回最大15万円
- ②夫婦合算所得400万円未満の夫婦は1回最大10万円上乗せ
- ③男性不妊治療を含む場合はさらに1回最大5万円上乗せ



※②と③は市町事業。  
市町が助成した場合に県が1/2補助する。

②は全市町が実施。  
③は21市町が実施（H27.6月時点）  
H27の実績は4件。

## 三重県特定不妊治療助成実績



平成27年度【新規】 一般不妊治療費助成事業（対象：人工授精）を開始  
※市町事業（15市町）

保険適用外部分を総合的に支援

# 三重県独自の上乘せ事業の利用状況 (平成27年6月現在)

事業	(1) 特定不妊治療費助成金上乘せ事業	(2) 男性不妊治療費助成事業	(3) 第2子以降の特定不妊治療に対する助成回数追加事業	(4) 不育症治療費等助成事業	(5) 一般不妊治療費(人工授精)助成事業
	1 上限まで 2 年1回 3 その他	1 実施している 2 検討中 3 実施予定はない	1 実施している 2 検討中 3 実施予定はない	1 実施している 2 検討中 3 実施予定はない	1 実施している 2 検討中 3 実施予定はない
市町					
1 津市	1	1	1	1	1
2 四日市市	1	1	3	1	1
3 伊勢市	2	1	3	1	3
4 松阪市	1	1	1	1	3
5 桑名市	1	1	2	2	1
6 鈴鹿市	1	1	2	2	1
7 名張市	1	1	1	1	1
8 尾鷲市	1	1	1	1	1
9 亀山市	1	1	1	1	1
10 鳥羽市	1	1	1	1	1
11 熊野市	1	1	1	1	2
12 いなべ市	1	1	1	1	2
13 志摩市	1	1	1	1	1
14 伊賀市	1	1	1	1	2
15 木曽岬町	1	3	2	3	3
16 東員町	1	2	1	2	1
17 菰野町	1	3	3	3	3
18 朝日町	1	2	2	2	2
19 川越町	1	1	1	1	3
20 多気町	2	3	3	1	3
21 明和町	2	1	1	1	3
22 大台町	1	2	2	1	2
23 玉城町	1	1	1	1	1
24 度会町	1	2	3	2	1
25 大紀町	1	1	3	3	1
26 南伊勢町	1	3	3	3	3
27 紀北町	1	1	1	1	1
28 御浜町	1	1	1	1	1
29 紀宝町	1	1	1	1	1
【回答集計】					
1	26	21	17	20	16
2	3	4	5	5	5
3	0	4	7	4	8
4	0	0	0	0	0
計	29	29	29	29	29

# <ライフプラン教育の推進>

家族の大切さ、  
家族愛の教育

妊娠・出産等の  
医学的知識の習得

人口妊娠中絶、  
性感染症等の教育

ライフプラン、  
結婚等の情報提供

小学生  
中学生

## 乳幼児ふれあい体験・命の教育セミナー

直接乳児を抱いたり、胎児の心音を聞き、家族の愛情や大切さを学ぶ事業を行う市町・市町内の全中学校で性や妊娠出産に関するセミナーを実施する市町支援

県補助利用実施 9市町

## 家庭生活を考える環境づくり創出事業(教育委員会)

教員等を対象に、家庭生活や家族の大切さを考える教育講演会を開催



高校生

## 高校生ライフプラン教育推進事業(教育委員会)

県立高校生が、園児やその親との交流を通して、子育て環境を学ぶ

## 妊娠・出産等に関する高校生の学び支援事業

県立高校へ、産婦人科等の専門家を派遣

大学生  
成人

## 大学生に対する妊娠出産に対する正しい知識の普及

就職後の働き方やライフプランについて具体的に考え、行動できるようにするため、講師を派遣

## 未来のパパママ啓発事業

成人式等機会をとらえ、妊娠・出産の正しい知識の普及啓発を行う

## 男女共同参画で考える人生設計事業・企業におけるライフプラン健康教育アドバイザー派遣事業

固定的な性別役割分担意識にとらわれず、柔軟な考えを持てるよう意識啓発を図る。企業の若手職員のライフプラン教育

受講者の声 ・産みたいと思ったときに妊娠するのが大事と分かった(中学生)  
・改めて妊娠の仕組みの説明を聞いて、自分でも知らないことがあり、びっくりした(小学生の保護者)

子どもたちを含めた若い世代の間に、家庭生活や家族の大切さ、妊娠・出産や性に関する医学的知識等の習得が広がり、自らのライフプランを考える基盤ができている状況をめざし、取組を進めています。

# ＜妊娠期からの切れ目のない支援体制＞

## 妊娠届出時アンケート様式の県内統一

①アンケートの目的、利用方法

医療・行政の連携、特定妊婦の把握のための視点の統一

②活用の例

「産婦人科医療機関で」

妊娠届出書の下欄(アンケート欄)について、本人に記載を促し、医師または看護職が可能な範囲でチェック

「市町窓口で」

本人が持参した用紙を確認(本人との面接または後日)

まずは気になるケースについて電話連絡することから！

特定妊婦：出産後の養育について出産前において支援を行うことが特に必要と認められる妊婦